



特定非営利活動法人 すくすく子育て
やぎハウス通信

2021年11月1日発行 VOL.6



発行元：特定非営利活動法人すくすく子育てやぎハウス
〒325-0074 栃木県那須塩原市松浦町121番地42
TEL/FAX：0287-74-2988
E-Mail：yagihausu@rb4.so-net.ne.jp
WEB：https://sites.google.com/view/yagihausu

ごあいさつ

日頃、やぎハウスに対し、ご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

秋も深まり「もみじ」が見頃を迎え、外出もしやすくなってきました。

やぎハウスでの子どもたちの生活も、基本的な感染防止対策に努めながら、少しずつ以前の姿に戻していければと思っています。

また、受験を控えている中学生が複数おりますので、文化祭、修学旅行が終了するこれから本格的に受験対応の支援をしていきたいと思っております。

それと来年に向け「子ども食堂」を開設する予定であることをご報告します。

場所は東原小学校の入り口にあった旧文具店をお借りして、やぎハウスのスタッフと地域ボランティアの協力で運営できればと考えています。まずは月1回土曜日の昼食でスタートする予定ですが、詳細は改めてお知らせします。

これで①要支援児童放課後応援事業、②子育て短期支援事業、③家事支援訪問事業に4つ目の事業が加わることとなります。今後とも、子どもの笑顔があふれる地域を目指して、スタッフ一同微力ですが活動して参りますのでよろしくお願いいたします。

理事長 八木澤 秀

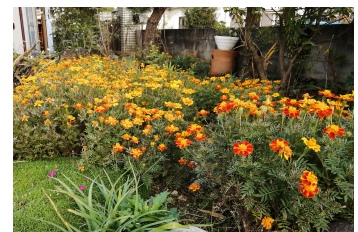
まごころありがとうございます

〔寄付金、物品等の支援お礼：順不同〕2021年2月～2021年10月受付分

- ・(有)磯ヶ谷養鶏園様・鈴木内科外科クリニック様・(有)菊地市郎商店様・青木道の駅産直会様・小林ミートショップ様・ミートショップかなざわ様・黒磯市場菊地三男様・那須塩原市社会福祉協議会様・JAなすの女性会様・わかば保育園の皆様・大笹牧場(株)様・青少年の自立を支える会様・(株)那須MR環境様・ステーキハウス「存じやす」様・社会福祉協議会経由(ZAPP黒磯店様・セブンイレブン様)・市子ども子育て総合センターの皆様・共英コミュニティ様・柴俊夫様(柴基金)・大正堂吉成様
- ・菊地 彰様・時庭勝彦様・時庭美智子様・岡部松一様・八木澤陽様・永山桂子様・八木澤香代子様・白井良子様・青木の星川様・伊藤政子様・近所の間宮様・薄井恭子様・五月女房江様・前原初枝様・後藤春子様・木本二三子様・本田美佐子様・田中サト様・堀越栄子様
- ・室井啓二様・和久勉様・浅賀亜紀子様・小針とし子様・白井真澄様・渡部直宏様・金子啓子様



(10月19日撮影那須塩原市内ひまわり畑)



笑顔で過ごそうね!

支援の輪の広がり

やぎハウスの活動を知ってくださる方たちの輪が年輪を重ねるように少しずつ、少しずつ広がってきていることにスタッフ一同感謝の思いでいっぱいです。やぎハウスの夕飯だけでなく、子どもたちの家庭にも毎回のように食料など必要なものを提供できるようになってきました。家の人の喜ぶ顔を思い浮かべ持ち帰る子どもたち、また「どうやって食べるの?」と自分でやってみようとする子もいます。

食の大切さ、お腹が満たされる幸せ、安心感をこれからも伝えていきたいと思えます。



そして、私たちの初挑戦! いつも支援していただいている私たちにもできることはと、フードバンクを支援するための「チャリティーウォーク県北21」というイベントに参加してきました。皆様に活動の趣旨をご理解いただき、たくさんの物品、ご寄付をお預かりして届けること、また、大田原市役所黒羽支所から、なかがわ水遊園間のウォーキングがミッションでした。天気にも恵まれ、田園風景を楽しみながらスタッフみんなで11キロを歩きました。なかがわ水遊園で温かいトン汁を作って待っていてくれたボランティアの方々、ありがとうございました。今回の経験は様々な福祉活動を支えていらっしゃる皆様のご苦勞に思いをはせる良い機会となりました。

この日もうひとつうれしいことがありました。高校生になったやぎハウスの卒業生とばったり遭遇! 生徒会の一員としてチャリティー活動を頑張っていました。



晴天の黒羽の町並、気分爽快でした

(ご協力いただいた品々)

心配性のおばちゃんたち

令和3年3月、やぎハウスにも受験生が3名いました。コロナ禍で学校見学などの体験をすることができず、試験当日を迎えた今年の受験生でした。待ち合わせて、自力で受験校まで行くことになったのですが、前日に「切符って買ったことないんだけど…」の言葉におばちゃんたちの心配はMax!! 「待ち合わせて会えなくて乗り遅れたらどうしよう」「電車反対側に乗ってしまったらして」と心配は絶えません。結局黒磯駅と学校の最寄り駅で待機することに…。

当日6:30子どもたちはきちんと集合しました。緊張しているけれど落ち着いている、そんな風に見えた子どもたちでした。本当に乗り越え苦勞のおばちゃんたちです。

そして、5月の連休、3人に声をかけランチ会をしました。なんだかまぶしい高校生になっていました。それぞれの未来へ羽ばたくための3年間になるよう引き続きおせっかいな応援をしていきたいと思っています。

恒例夏のお楽しみ会!

感染症対策をしながら今年は全員を対象に行うことができました。

中学生は社会経験を広げることを目的として映画鑑賞に出かけました。選んだ作品は「竜とそばかすの姫」。現実の世界では自分をうまく表現できない主人公がネットの中で大きく変わっていく姿。きれいな映像と音楽の調べ。「マジ良かったわー」と今の子らしい感想をストレートに言ってくれる子もいました。観賞の前に軽食を自分で注文して買ってみる、そんな体験もしました。

小学生は理事長お得意のうどん打ち体験を行いました。初めての体験に足で小麦粉を踏んでいいの?と少々戸惑いつつフミフミ。綿棒で伸ばすと「細いのが好き」「私は太いの」とそれぞれの好みに自分たちで切りました。ゆであがったうどんを満足そうに食べる子どもたちでした。



へい いらっしゃい!
丸秀うどんだよ